

## 次世代郊外まちづくり

# 「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」 トークフェスタを開催します

～次世代郊外まちづくり第3期協定の取組を開始～

本市と東急株式会社は、平成24年度に締結した「『次世代郊外まちづくり』の推進に関する協定」を令和4年4月1日に更新し、「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」をテーマに、協定第三期（令和4～8年度）の取組を開始します。

それに伴い、地域の方々と「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を一緒に考える「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」トークフェスタを5月22日に開催します。

この取組を次世代郊外まちづくり第3期協定の第一歩とし、これまでに培ったノウハウや成果を活かした取組を横浜市北部地域の田園都市線沿線全体に広げ、さらなる郊外住宅地の再生を進めていきます。

## 1. 「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」トークフェスタの概要 ※詳細は別紙チラシをご覧ください

- 日程：令和4年5月22日（日）午後1時から午後4時30分まで
- 場所：スプラス青葉台\*<sup>1</sup>（青葉区青葉台1-13-1 青葉台郵便局 2F・3F）
- 内容：第1部 次世代郊外まちづくりの活動報告及び協定更新について  
第2部 地域住民の方、学校、地域企業等によるゲストトーク  
第3部 参加者で「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を語り合うワークショップ  
(トークフェスタ開催後、沿線にある交流拠点や資産を活かした「働く」、「楽しむ」イベントの開催も予定。)

### ※1 スプラス青葉台

「地域交流」と「働く」の2つの機能が融合した施設。日本郵便株式会社の協力を得て、「次世代郊外まちづくり」の一環として東急株式会社が青葉台郵便局の空き区画を活用し、令和3年7月にオープン。



## 2. 協定更新の概要（協定第三期 令和4～8年度）

### ●「暮らす、働く住宅地」から、「暮らす、働く、楽しむ住宅地」へ

まちづくりの活動が持続、展開していくためには、産学公民それぞれが「新しいつながりやサービスが生まれることの楽しさ」を実感して参画することが重要であるため、今後はこれまでの取組に「楽しむ」要素を融合させた自由で豊かなライフスタイルの提案をしていきます。

### ●モデル地区から沿線展開へ

交流や地域活動の支援などモデル地区で得た成果を踏まえ、地域独自の人のつながりや自然、公的空間などの資産を生かした取組を横浜市北部地域の田園都市線沿線全体に広げていきます。

### ●4つの地域循環の創出

①脱炭素社会の推進に向けた「環境の循環」、②まちづくりの担い手を生み出す「世代を超えた交流の循環」、③住民のスキルを地域に生かす「人材スキルの循環」、それに伴う④「地域経済の循環」をかけ合わせた仕組みづくりを目指します。

### 3. 2022年度の主な取組

#### ●サステナブルな次世代ライフスタイルプロジェクト

脱炭素社会の推進に向け、地域の資産や地域交流拠点（W I S E Living Lab）を活用しながら、新しい暮らし方、移動のあり方を考え、学び、提案する場を住民、学校、企業等と連携して創出します。

#### ●地域による地域課題解決の仕組みづくり

これまでに実施してきた「プロボノ<sup>※2</sup>」をはじめ、住民や企業のスキル、ノウハウを生かした地域課題解決の取組を実施します。また、地域の課題解決の担い手や活動が持続していくための仕組みづくりを検討します。

※2「プロボノ」:ラテン語の(Pro Bono Publico)に由来し、社会人経験で得られた業務経験やスキルを活かして行うボランティア活動を指す。

お問合せ先		
建築局 住宅再生課長	村上 まり子	Tel 045-671-4543



# 田園都市で 暮らす、働く、 楽しむ

## TALK FESTA

5/22 2022  
Sun.

13:00～16:30 受付 12:30～

プラス青葉台

横浜市青葉区青葉台 1-13-1 青葉台郵便局 2F  
東急田園都市線 青葉台駅より徒歩 3 分



当日のプログラム

※プログラムの時間は変更の可能性があります

### OPENING ACT

オープニングアクト  
13:00～  
青葉区ゆかりの  
ミュージシャンによる  
生演奏

### PITCH TALK

ピッチトーク  
13:20～  
田園都市に縁のあるゲスト  
による「田園都市で楽しむ」  
トークイベント

### WORKSHOP

ワークショップ  
14:15～  
「田園都市で楽しむ」を  
みんなで語るワールドカフェ。  
交流会もあります

### MARCHÉ

マルシェ  
青葉区内のさまざまな  
団体の活動紹介・物販  
コーナー・パネル展示

at EVENT SPACE

at COMMUNITY  
ROUNGE

### HOW TO JOIN ?

参加方法

ピッチトーク及びワークショップに参加を希望される方は  
以下のリンク先のGoogleフォームより、  
お申込みください。(先着 30 名)  
<https://forms.gle/qPrtC7X4wdxqxGSdA>

リンク先へは右の  
二次元コードを  
読み取って  
アクセスできます



# ABOUT 開催概要

WISE CITY

横浜市と東急が2012年から進めてきた次世代郊外まちづくりは、10年が経過し、今後は「田園都市で暮らす・働く・楽しむ」をテーマに、地域のつながりや自然などの地域資産を生かして自由に豊かな、新しい郊外住宅地のライフスタイルを提案していきます。トークフェスタでは、地域で活躍するゲストを迎えた取組紹介や、参加者同士の交流の場となるワークショップを開催します。また、マルシェでは地域にゆかりのある団体による出展・物販や情報発信、パネル展示も予定しています。暮らし、働き、楽しめる新たなライフスタイルを一緒に考え、体験してみませんか？

## FEATURING ピッチトークなどで登壇 いただくゲストのご紹介

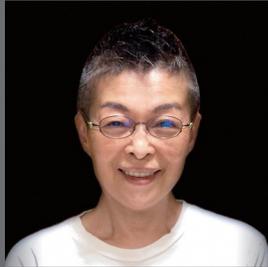
## WORKSHOP 交流



林 月子さん

Tsukiko HAYASHI

「たまプラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト」代表



藤井 本子さん

Motoko FUJII

100段階プロジェクト代表  
／街のはなし実行委員会代表



渡邊 菜摘さん

Natsumi WATANABE

SPRAS AOBADAI  
コミュニティビルダー

ピッチトーク後、交流できる  
ワールドカフェを開催！

みんなにとっての「田園都市で暮らす・働く・楽しむ」って？参加者同士で話すワールドカフェや、交流会もあります

## MARCHÉ マルシェ

地域団体の活動紹介、物販や情報発信コーナー、パネル展示もあります！

アオバザール、SMG supported by 萬駄屋など、地域ゆかりの出店も！

## ADVISOR 専門家



村野 浩一さん

Hirokazu MURANO

日体大SMG横浜 ホーム  
タウン協議会 事務局長  
／青葉台駅前郵便局長



元石川高校

Motoishikawa  
High school

アントレプレナーシップ  
担当教諭



小野 祐樹さん

Yuuki ONO

三菱ケミカル株式会社  
研究推進部 コラボレーション  
推進マネジャー



小泉 秀樹 教授

Hideki KOIZUMI

東京大学大学院  
まちづくり研究室

## INFORMATION 参加方法など

ピッチトーク及びワークショップに参加を希望される方は以下のリンク先の 구글フォームより、お申込みください。  
(先着 30名)

マルシェは出入り自由です。来場の際は感染症対策にご協力ください。また感染症の拡大状況により、オンライン実施の可能性がございます。

リンク先 <https://forms.gle/qPrtC7X4wdxqxGSdA>

### COMING SOON

実践的なイベントも計画しています！ ※ 詳細は適宜、次世代郊外まちづくりwebサイトにてお知らせします

2022夏頃 「田園都市で働く」を体験しよう

2022秋頃 「田園都市で楽しむ」を体験しよう



次世代郊外まちづくり web  
<https://jisedaikogai.jp/>  
info.sankakubase@gmail.com  
☎ 045-671-2954 [横浜市建築局住宅再生課]

SDGs未来都市・横浜



横浜市



**「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」をテーマに  
「次世代郊外まちづくり」をさらに田園都市線沿線に展開します！  
～横浜市と東急株式会社が共同で進めるまちづくりの包括協定を更新～**

横浜市と東急株式会社(以下、東急)は、2012年4月に締結し、2017年4月に更新した『「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定(2022～2027年)』を4月1日付で更新しました。

「次世代郊外まちづくり」は、横浜市北部地域の田園都市線沿線の郊外住宅地において、既存のまちが抱える様々な課題を産学公民連携によって解決していく、住民参加型・課題解決型のプロジェクトです。

協定締結から10年間、モデル地区である「たまプラーザ駅北側地区(横浜市青葉区美しが丘一、二、三丁目)」を中心に、「田園都市で暮らす、働く」の実現に向けて、地域活動の支援や交流・就労機能等の整備、起業支援、「プロボノ(※)」による地域課題の解決などを推進してきました。2021年7月には、青葉台駅周辺に交流と就労の機能が併設・連携した施設を整備するなど、モデル地区以外の地域にも取組を展開しています。(別紙1参照)

(※)「プロボノ」:ラテン語の(Pro Bono Publico)に由来し、社会人経験で得られた業務経験やスキルを活かして行うボランティア活動を指す

**【協定更新の概要】**

■ 「暮らす、働く住宅地」から、「暮らす、働く、楽しむ住宅地」へ

まちづくりの活動が持続、展開していくためには、産学公民それぞれが「新しいつながりやサービスが生まれることの楽しさ」を実感して参画することが重要であるため、今後はこれまでの取組に「楽しむ」要素を融合させた自由で豊かなライフスタイルの提案をしていきます(別紙2参照)。

■ モデル地区から沿線展開へ

交流や地域活動の支援などモデル地区で得た成果を踏まえ、地域独自の人のつながりや自然、公的空間などの資産を生かした取組を田園都市線沿線全体(横浜市北部地域)に広げていきます。

■ 4つの地域循環の創出

- ①脱炭素社会の推進に向けた「環境の循環」、②まちづくりの担い手を生み出す「世代を超えた交流の循環」、③住民のスキルを地域に生かす「人材スキルの循環」、それに伴う④「地域経済の循環」を掛け合わせた仕組みづくりを目指します。

**【2022年度の主な取り組み】**

■ サステナブルな次世代ライフスタイルプロジェクト

脱炭素社会の推進に向け、地域の資産や地域交流拠点(WISE Living Lab)を活用しながら、新しい暮らし方、移動のあり方を考え、学び、提案する場を住民、学校、企業等と連携して創出します。

■ 地域による地域課題解決の仕組みづくり

これまでに実施してきた「プロボノ」をはじめ、住民や企業のスキル、ノウハウを生かした地域課題解決の取組を実施します。また、地域の課題解決の担い手や活動が持続していくための仕組みづくりを検討します。

■ 次世代郊外まちづくり「トークフェスタ」(別紙3参照)などの開催

田園都市線沿線の住民、学校、企業、行政が共に新しい暮らし方・働き方・楽しみ方を考え、体験するトークセッションやワークショップを中心としたイベント「トークフェスタ」を実施します。そのほか、沿線にある拠点や資産を生かした「働く」、「楽しむ」イベントの開催を予定しています。

詳細は別紙の通りです。

	年 月	主な取り組み	
1 期	2012 年度	4 月	横浜市・東急「次世代郊外まちづくり」包括協定締結
		6 月	モデル地区「たまプラーザ駅北側地区（美しが丘一丁目・二丁目・三丁目）を選定
	2013 年度	6 月	「次世代郊外まちづくり基本構想 2013」を策定
		6 月～	「リーディングプロジェクト」の推進 以降、地域活動支援、在宅医療と介護連携、企業連携による社会実験等を実施
2016 年度	2 月～	地域活動拠点「WISE Living Lab」オープン 地域活動支援「サポート企画」スタート	
2 期	2017 年度	4 月	横浜市・東急「次世代郊外まちづくり」包括協定更新
		9 月～	リビングラボ勉強会開催 住民・企業・大学・行政が集まり講演やワークショップを通じて取り組みを推進
	2018 年度	4 月～	「田園都市で暮らす、働く」の実現に向けたプロジェクトスタート 田園都市線沿線での豊かで新しい暮らし方・働き方の創出を目指した取り組み
		7 月～	企業社宅跡地に、多世代型住宅、交流・就労・子育て施設の複合施設「ドレッセ WISE たまプラーザ」竣工 一般社団法人ドレッセ WISE たまプラーザエリアマネジメント設立 地域利便施設「CO-NIWA たまプラーザ」開業
		11 月	「田園都市で暮らす、働く」シンポジウム開催
		1 月～	地域移動（郊外型 MaaS）社会実験開催
	2019 年度	4 月～	地域活動支援「共創企画」スタート（～2021 年度までの取り組みの一例） ●地域の学校との連携（元石川高校・桐蔭学園中等教育学校） ●美しが丘アセス委員会 100 段階プロジェクト ●慶應 SFC M-NEX プロジェクト
		6 月～	リビングラボの推進 ●KDDI 総合研究所×子育て中のママによる「サードプレイス」デザイン ●NTT×NTT docomo×たまプラコネクトによる ICT、IoT 技術を活用した「たまプラ・リビングラボ」プロジェクト 2019 年度：「たまぷらポット」「まちあるきマップ」 2020 年度～：上記に加え地域通貨「まちなのコイン」 ●ソフトバンク×向洋電機土木×住民による郊外住宅地での新しい働き方「ショートタイムテレワーク」
		9 月	「田園都市で暮らす、働く」各プログラムスタート：くらす Bar、拠点歩き、小商い起業講座、プロボノ講座、セカンドキャリア地域起業セミナー
	2020 年度	4 月～	「田園都市で暮らす、働く」各プログラム推進 ●セカンドキャリア地域起業セミナー：ソーシャルビジネスの基礎を学ぶ連続セミナー実施 ●プロボノ講座：基礎を学ぶとともに、実際に青葉区の団体の支援活動を実施 2020 年度：GrASP、日体大 FIELDS 2021 年度：こどもの国、Studio & Cafe BALENA、アオバザール合同会社、医療法人社団博慈会青葉さわい病院
	2021 年度	7 月	「スプラス青葉台」開業 沿線展開として青葉台郵便局の空き区画を活用した地域交流拠点、就労の場

以 上

## 「次世代郊外まちづくり」目指すまちの姿

コミュニティ・リビング（※）の考えのもと、交流拠点がまちに点在することで、新しい「つながり」が生まれ、住民や地域の企業等の交流や活動も活発になることが期待できます。また、住民や企業の想いやスキルを地域に活かすことで、様々な方がまちに関わり、暮らしもより豊かになっていくと考えています。「次世代郊外まちづくり」はこれまでの活動を踏まえ、自由で豊かなライフスタイルの実現に向け、取組を進めていきます。



### （※）コミュニティ・リビング

歩いて暮らせる範囲に、買い物、福祉、医療、子育て、コミュニティ活動など、地域に必要な機能を適切に配置し、それらを密接に結合させていく考え方で「次世代郊外まちづくり」を進める上で、主要な理念として位置付けています。

## 「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」トークフェスタ

次世代郊外まちづくりが 2022 年度に協定を更新するにあたり、これまでの活動報告を行うとともに、2022 年度以降の活動方針である「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を紹介します。

また、「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を体現している方をお招きしたゲストトークやワークショップを通じて、次世代郊外まちづくりの目指す「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」や取り組みを沿線展開していくことを参加者にも共有、体感していただく機会とします。

### 【概要】

日 程：2022 年 5 月 22 日（日）13：00～16：30

場 所：プラス青葉台（東急田園都市線青葉台駅下車 徒歩約 3 分）

定 員：30 名 ※会場内イベントはどなたでも自由にご参加いただけます。

対 象：青葉区に関わりのある人、次世代郊外まちづくりに興味・関心がある方  
「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」に興味・関心のある方 など

### 第 1 部：次世代郊外まちづくりの活動報告・発表

これまで住民の方と取り組んできた活動や「田園都市で暮らす、働く」に関する取り組みについてご報告すると共に、協定更新のポイントや 2022 年度の活動内容についてご紹介します。

### 第 2 部：ゲストトーク

「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を実現しているゲストによるピッチトークを実施します。

<ゲスト>

- ・林 月子さん（たまプラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト代表）
- ・藤井 本子さん（100 段階プロジェクト代表／街のはなし実行委員会代表）
- ・渡邊 菜摘さん（SPRAS AOBADAI コミュニティビルダー）
- ・村野 浩一さん（日体大 SMG 横浜 ホームタウン協議会 事務局長）
- ・元石川高枝（アントレプレナーシップ担当教諭）
- ・小野 祐樹さん（三菱ケミカル株式会社 研究推進部 コラボレーション推進マネジャー）

\* アドバイザー：東京大学大学院 まちづくり研究室 小泉秀樹教授

### 第 3 部：ワークショップ（ワールドカフェ）

「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」について参加者で語り合うワークショップを実施します。

終了後はゲスト、参加者、マルシェ出展者による交流会を予定しています。

### その他：会場内での展示、イベントなど

マルシェでの物販、地域活動団体の紹介、情報発信コーナー、パネル展示等を実施します。

#### 参加方法・お問い合わせ先

以下 URL より受付いたします。（先着 30 名）

<https://forms.gle/qPrtG7X4wdxqxGSdA>

お問い合わせ先：info.sankakubase@gmail.com / 045-671-2954（横浜市建築局住宅再生課）